

適用規格					
定格	使用温度範囲	-25℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
	電圧	AC 100 V , DC 140 V	電線サイズ	AWG#24~#28 被覆外径 MAXφ1.15	
	電流	2 A	適合ケーブル	φ9.5±0.2	
性 能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。 プラグのコード管クランプ 金具固定部-レギュラータルのRシールドフランジ間をDC20Aで測定する。	20 mΩ以下 100 mΩ以下	○	-
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	-
	耐電圧	端子間、端子-シールド間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-
機械的 性能	コネクタの挿抜力	φ0.53±0.003 の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.15 N 以上	○	-
	コネクタの挿抜力	適合コネクタをかん合させて測定する。 但し、ロック機構を含む。	挿抜力 70 N 以下	○	-
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 20 mΩ以下	○	-
	耐振性	周波数10~500Hz/サイクル、片振幅 0.75mm、 加速度100m/s ² 、11分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐衝撃性	加速度 500 m/s ² 、持続時間11 ms、 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	コネクタ保持力	圧着結線された適合コネクタを組み込み後 電線に引張り荷重を加え測定する。	20 N以上	○	-
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90~95 %中に96 時間 放置する。	①絶縁抵抗: 5MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 50MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃→常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	機能(互換性)を損なうような はなはだしい腐食がないこと。	○	-
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐水圧性	適合コネクタにかん合した状態で、水深 1.8mlに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	-
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に 17-圧 40kPaを 30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	-
	耐油性	適合コネクタをかん合した状態で切削油に 48時間浸漬する。	コネクタ内部に油の侵入がないこと。	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
▲	1	DIS-C-00017476	HY. KISHI	HY. KOBAYASHI	20240619
備考 (1)上記規格値は、適合圧着コネクタ(HR22-SC1-221)を組み込んだ状態 での値を示す。▲			承認	TP. KOMATSU	20231205
			検図	EJ. KUNII	20231204
			担当	KS. TAKAHASHI	20231204
			製図	KS. TAKAHASHI	20231204
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。(JIS C 5402)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-396046-00-01	
HRS	製品規格表		製品名	HR22K-12WBP-20SC	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0122-1001-0-00	▲ 1/1